

～心と心 笑顔と笑顔をつなぐまち奥多摩～



おくたま
ふくし



第226号
令和7年4月5日発行

発行

社会福祉法人奥多摩町社会福祉協議会

TEL 0428-83-3855 FAX 0428-83-2567 HP <http://okusyakyu.or.jp/>
〒198-0212 奥多摩町氷川199 (奥多摩町福祉会館内)

第27回 福祉バザー開催

4月12日(土) 午前9時45分～11時45分
会場・奥多摩町福祉会館1階集会室

第27回福祉バザーが、住民皆様をはじめ多くのボランティアの方のご理解、ご協力により開催されます。

この福祉バザーの収益は、地域福祉事業を推進するためのボランティア基金の財源およびボランティア団体活動費の助成に充てられます。

福祉バザーは、住民の皆様からご提供いただいた品物で開催させていただきます。趣旨をご理解いただき、バザー用品を1品でも多くご提供いただけますようお願いいたします。

バザー当日、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※詳しくは、各家庭配布のチラシをご覧ください。



▲昨年の物品販売の様子



▲昨年のボランティアの集いの様子

「ボランティアの集い」

〔日時〕 4月12日(土) 午後1時
〔会場〕 奥多摩町福祉会館 1階集会室

福祉バザー終了後、午後1時から「ボランティアの集い」を開催します。

この「ボランティアの集い」は、地域住民、ボランティアが一堂に集い、レクリエーションなどを通じて交流し、お互いの親睦や理解を深めることを目的に行います。

参加無料、申し込み不要でどなたでも参加できます。

楽しい企画をご用意してお待ちしています！

○内容

- ・ Ogouchi Banban Companyライブ
- ・ 合奏
- ・ 国際交流会
- ・ 大プレゼント動物ビンゴ
- ・ 日の出お年寄り
- ・ リスペクト隊によるステージ

令和7年度 事業計画

1. 基本方針

今年度は団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」の年であり、高齢化が進む我が町では、今後ますます地域での「たすけあい」が必要となりますので、新しい生活習慣の中でも、住民皆さんが積極的に参画し、活躍していただく「地域共生社会」の実現を目指して行くことが必要です。

こうした中、全国社会福祉協議会では、「社会福祉協議会基本要項」を見直し、奥多摩町社会福祉協議会でも第3期地域福祉活動計画「やまびこ計画」が、令和7年度で終了することから引き続き奥多摩町長期総合計画地域保健福祉計画と協同しながら策定委員会を設置し、第4期地域福祉活動計画の策定事業に取り組みます。

「福祉のネットワークづくり」として、情報発信と新たな講座・教室の検討、「ボランティア活動の推進」では、新たなボランティア発掘と、ボランティアセンターの整理・充実、運営委員会の充実など、目標を明確にし、

活動計画の理念である「心と心、笑顔と笑顔をつなぐまち奥多摩」を合言葉に事業の展開を目指してまいります。

さらに奥多摩町地域防災計画が修正されることから、災害ボランティアに対する準備と活動について検討する機会や、成年後見制度推進機関のさらなる推進、社会福祉法の改正による「重層的支援体制整備事業」の準備などに取り組んでいきます。

また、当社協が近隣8市町村で構成する西多摩ブロック地社協連絡協議会の代表幹事となるため、西多摩地域の社会福祉協議会を代表して東京都社会福祉協議会との連絡調整、役員研修の実施などに努めてまいります。自治会に大きく依存している募金の集金方法や、人口減少などによる募金額の減少への対策等も検討し、地域ささえあいボランティア事業のボランティアや介護サービス事業職員の確保など、山積する課題を少しずつ解決できるよう努めてまいります。

いずれにいたしましても地域福祉は、住民一人ひとりがその地域でいきいきと自立した生活を送ることができるよう、同じ地域に暮らす住民同士が助け合い、支え合いながら、行政、民間企業、NPO法人等の団体等、みんなで力を合わせて取り組んで行く必要があります。

本年度も役員一丸となって地域福祉の向上に努めてまいりますので、町民皆様のなご一層のご支援とご協力をお願いいたします。

2. 法人運営事業

- (1) 役員会等の開催
- (2) 監事会の開催
- (3) 社会福祉協議会会員の増強及び自主財源の確保

社会福祉協議会が事業展開している地域福祉活動を町民皆様にご理解いただき、その財源となる会員（会費）及び寄付金の増強を図るほか、福祉バザーを開催し、基金への積立財源の確保に努めます。

- ① 会員会費の増強月間
- ② 寄付金の受付
- ③ 第27回福祉バザー
- ④ 調査・企画・啓発

福祉大会を開催し、社会福祉に功績のあった方々を表彰し、並びにめでたく金婚をお迎えになられたご夫妻をお祝いします。

- (5) 普及宣伝
- 情報公開と社会福祉協議会活動の周知を図ります。

- ① 「おくたまふくし」の発行
- ② 町内で活動するボランティア団体やグループの取材
- ③ 各種団体が情報発信できる掲示板の設置とポータルサイトの作成
- ④ ホームページによる広報



3. 地域福祉事業

- (1) 高齢者福祉事業
在宅の高齢者が住み慣れた地域で、健康で安心した生活が送れるよう支援いたします。
- ① ふれあい仲間づくり旅行
- ② 金婚のお祝い
- ③ 敬老祝い金の贈呈
- ④ 高齢者クラブ連合会への協力
- (2) 障がい者福祉事業
障がい者が自立した生活を送り、積極的な社会参加が図れるよう支援いたします。
- ① 身体障害者福祉協会への協力
- ② 西多摩障がい者絵画展の開催
- ③ 精神障がい者のつどい「なごみ運営委員会」事業への協力

- ④障がい者世帯の自主活動グループへのクリスマス事業援助
- ③ひとり親家庭・

乳幼児及び児童福祉事業
地域における育児環境の福祉向上を図ります。

- ①低所得世帯への就学援助
- ②奨学就学資金の借入れ斡旋
- ③保育園児等観劇招待
- ④自主保育グループへのクリスマス事業援助

- ④在宅福祉サービス事業
在宅の高齢者及び障がい者等に福祉サービスを利用していたるべくにより利用者並びに介護者の負担を軽減できるように努めます。
- ①介護機器等の無料貸出し
- ②福祉車両の無料貸出し
- ③介護用品の交付事業

- ⑤まごころ助成事業
福祉向上、青少年育成、住民の健康づくり等の事業を行う団体へ公募による単年度の助成事業を行います。
- ⑥地域福祉活動計画策定事業

第3期地域福祉活動計画「やまびこ計画」は、令和7年度で計画期間が終了します。引き続き奥多摩町長期総合計画、地域保健福祉計画と協同しながら策

定委員会を設置し、第4期地域福祉活動計画を策定します。

- (7)戦没者慰霊事業

古里・氷川地区にある忠霊塔の維持管理を行います。
奥多摩町戦没者追悼式を毎年開催にて執り行います。

4. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動は個人の自発的な意思に基づく自主的な活動であり、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、社会においてはその活動の広がりによって、社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、様々な構成員がともに支え合い、交流する地域社会づくりが進むなど、大きな意義を持つております。

当法人では、ボランティアセンターを開設し、市民のボランティア活動への理解を深め、参加を促進するための拠点としており、また、センターの適切かつ効率的な運営を図るため、運営委員会を設置し、ボランティア活動の推進を図っております。やまびこ計画の半期の見直しに基づき、運営委員会の活動を充実させ、ボランティア通信や他

の情報発信の方法を検討し、多くの機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民のニーズを積極的に開拓することにより、誰でも気軽にボランティア活動に参加できるように事業を行います。

- (1)ボランティア・センター
おくたま運営委員会の開催
- ①登録ボランティアに関する規程・様式の整備
- ②ボランティアニーズ調査の実施

- (2)養成研修事業
- ①ボランティアの集いの開催
- ②手話講習会の開催
- ③点字講習会の開催
- ④傾聴ボランティア養成講座
- ⑤夏体験ボランティアの開催
- (3)組織化・登録斡旋事業
- ①ボランティア団体代表者連絡会の開催
- ②登録ボランティアの拡大
- ③シニアボランティア登録斡旋事業

- ④新規ボランティア及びボランティアグループの開拓
- ⑤ボランティア活動普及事業補助金助成
- ⑥ボランティア受入施設との連絡調整及びボランティア斡旋

- ⑦ボランティア保険掛金助成
- (4)ボランティア団体助成事業
福祉バザー収益の一部をボランティア登録団体運営費として助成

- (5)災害ボランティア活動事業
- ①大規模な災害時に必要とされる備品等の整備
- ②災害ボランティアセンター訓練の実施

- (6)広報・啓発事業
- ①ボランティア通信発行
(社協広報紙同時発行 年4回)
- ②ホームページによる広報

5. 福祉団体への助成事業

各団体等に助成することにより、社会的自立、社会復帰又はその活動の活性化につながるよう支援いたします。

- (1)助成対象団体等
- ①保護司会
- ②奥多摩町自治会連合会
- ③奥多摩町高齢者クラブ連合会
- ④奥多摩町身体障害者福祉協会
- ⑤保育園（古里・氷川）
- ⑥タンポポの会
(障がい者世帯の自主活動グループ)
- ⑦なごみ運営委員会
(精神障がい者のつどい)
- ⑧ちびっこぐーちよきぱー
(自主保育グループ)

- ⑨ 古里少年野球クラブ
- ⑩ 奥多摩柔道会
- ⑪ 奥多摩剣道会
- ⑫ 氷川FC (少年サッカークラブ)
- ⑬ スーパーヒーローリーグールズ
(少女少女バレーボールチーム)

6. 受託事業

町、東京都社会福祉協議会から在宅福祉サービス事業等を受託し、地域における福祉ニーズに即応しながら、効果的につきの事業を実施いたします。

- (1) 高齢者外出支援サービス事業
- (2) 高齢者筋力向上
トレーニング事業
- (3) 低所得者・離職者対策事業
- (4) 高齢者見守り相談事業
- (5) 地域ささえあい
ボランティア事業
- (6) 成年後見制度推進機関
- (7) 生活福祉資金貸付事業
- (8) ひとり親家庭高等職業
訓練促進資金貸付事業
- (9) 地域福祉権利擁護事業

7. 奥多摩町福祉会館
指定管理事業

町より「奥多摩町福祉会館指定管理者」の指定を受け、奥多

摩町福祉会館の効果的な運営・管理を行います。インターネットを通じて予約状況、利用方法、使用料金等を案内するなど、利用者への情報提供とサービスの向上に努めます。

8. たすけあいの推進事業

自治会をはじめ各事業所、各団体等の協力を得て、相互扶助を理念とし、町民皆様のご理解ご協力をいただき、地域でのたすけあいを推進いたします。

- (1) 日本赤十字社員増強運動
- (2) 赤い羽根共同募金運動
この募金は、町における募金額の65%が、町内の保育施設、民間社会福祉団体等の事業に配分されます。

- 令和7年度実施申請事業
- 毎日の生活に必要な備品・遊具の更新事業 (古里保育園)
- 砂場メンテナンス事業 (氷川保育園)
- ボランティア通信発行事業 (社会福祉協議会)

- (3) 歳末たすけあい・地域福祉募金運動
歳末たすけあい運動は、要援護世帯への見舞金や災害見舞金として、12月中に配分を行い、募金の一部を東京都共同募金会

へ納付し、令和7年度に実施される、次の地域福祉事業に配分されます。

- ① 奥多摩町福祉大会事業
- ② 介護機器貸出事業
- ③ まごころ助成事業
- ④ 高齢者福祉事業
(ふれあい仲間づくり旅行)

- ⑤ 児童・生徒低所得世帯就学援助事業
- ⑥ 保育園児観劇招待事業
- ⑦ ボランティア活動推進事業



9. 高齢者在宅サービスセンター事業

「地域密着型通所介護事業」と「介護予防・日常生活支援総合事業」では、利用者への介護サービスの充実に努めるとともに、ご家族の介護負担の軽減を図ります。

さらに、町からの受託事業として配食サービス事業を展開してまいります。

- (1) 地域密着型通所介護事業
- (2) 通所型サービス事業
- (3) 配食サービス事業

10. ヘルパーステーションおくたま事業

利用者宅へホームヘルパーの派遣を行い、高齢者の方々が、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援いたします。

また、多種多様なニーズにきめ細やかな対応ができるように、介護保険事業だけでなく、法人独自に有償家事援助サービス事業を展開いたします。

- (1) 訪問介護事業
- (2) 訪問型サービス事業
- (3) 有償家事援助サービス事業

11. ケアサポート奥多摩事業

(1) 指定居宅介護支援事業
介護保険法に則り、地域で暮らす要介護状態にある高齢者に対して、居宅介護支援計画(ケアプラン)を作成いたします。

(2) 介護予防支援事業
地域包括支援センターから委託を受け、予防プランを作成いたします。

(3) 要介護認定調査の受託
区市町村からの委託を受け、要介護認定調査を実施いたします。

令和7年度予算

(単位：千円)

科 目	社会福祉事業区分			内部取引消去	合 計	
	地域福祉事業	介護事業	合 計			
【事業活動による収支】						
収 入	会費収入	3,000	0	3,000	0	3,000
	寄附金収入	2,300	0	2,300	0	2,300
	経常経費補助金収入	79,974	0	79,974	0	79,974
	受託金収入	56,437	0	56,437	0	56,437
	事業収入	1,135	260	1,395	0	1,395
	介護保険事業収入	0	87,152	87,152	0	87,152
	受取利息配当金収入	86	4	90	0	90
	その他の収入	85	0	85	0	85
	事業活動収入計(1)	143,017	87,416	230,433	0	230,433
支 出	人件費支出	97,177	76,194	173,371	0	173,371
	事業費支出	24,929	10,359	35,288	0	35,288
	事務費支出	14,558	7,654	22,212	0	22,212
	分担金支出	60	0	60	0	60
	助成金支出	1,685	100	1,785	0	1,785
	事業活動支出計(2)	138,409	94,307	232,716	0	232,716
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	4,608	△6,891	△2,283	0	△2,283
【施設整備等による収支】						
収 入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0
支 出	固定資産取得支出	256	12,954	13,210	0	13,210
	基金積立資産支出	618	0	618	0	618
	その他の施設整備等による 支出	0	1,500	1,500	0	1,500
	施設整備等支出計(5)	874	14,454	15,328	0	15,328
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△874	△14,454	△15,328	0	△15,328	
【その他の活動による収支】						
収 入	拠点区分間繰入金収入	0	20,660	20,660	△20,660	0
	その他の活動収入計(7)	0	20,660	20,660	△20,660	0
支 出	積立資産支出	4,038	2,414	6,452	0	6,452
	拠点区分間繰入金支出	20,660	0	20,660	△20,660	0
	その他の活動支出計(8)	24,698	2,414	27,112	△20,660	6,452
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△24,698	18,246	△6,452	0	△6,452	
予備費支出(10)	4,692	2,114	6,806	0	6,806	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△25,656	△5,213	△30,869	0	△30,869	
前期末支払資金残高(12)	75,553	17,900	93,453	0	93,453	
当期末支払資金残高(11)+(12)	49,897	12,687	62,584	0	62,584	

あたたかいご寄付ありがとうございました

～令和7年3月21日 (敬称略)

月 日	金 額	ご 主 旨 な ど	自 治 会 な ど	氏 名
1月16日	4,123円	小銭をためて福祉のために		川村
1月22日	100,000円	ベッド使用の気持ち	川 野	岡部ミネ子
1月23日	100,000円	福祉のために	長 畑	杉山建次
2月 4日	10,000円	皆様にお世話になっている感謝の気持ち	栃久保	小澤ミネ
2月25日	9,010円	小銭を集めて福祉のために	栃久保	栃久保ママさんクラブ 代表 菊池恭子
2月26日	1,650円	雑巾の売上を福祉のために	栃久保	清水多恵子
3月12日	100,000円	亡父苺田英司の生前謝意として	南氷川	苺田和江
3月21日	20,000円	福祉のために	小河内	一般財団法人 小河内振興財団

月 日	品 物 ・ 数 量	自 治 会 な ど	氏 名
2月 6日	テレビカード、使用済テレフォンカード		匿 名
2月28日	タオル、手ぬぐい	大氷川	小川幸男
3月 5日	未使用はがき		役場住民課
3月 7日	紙おむつ 5袋		匿 名
3月13日	ポータブルトイレ 1台	丹三郎	川本雅史

【職員の異動等】

○異動・昇格 2月1日付
地域福祉課相談支援係(町派遣) 主任 坂村 慧美

介護サービス課主任 (高齢者在宅サービスセンター) (昇格) 遠藤みちる

4月1日付
地域福祉課長兼ボランティア係長 (昇格) 堀口 学

地域福祉課主幹兼相談支援係長 河野 孝司

地域福祉課地域福祉係主任 原島 公理

地域福祉課地域福祉係主任 (昇格) 関口 誠

介護サービス課長(事務局長が兼務) 菊池 良

介護サービス課通所サービス係長 (高齢者在宅サービスセンター) 市倉 真人

介護サービス課訪問サービス係長 吉村 太郎

介護サービス課主任 (ケアサポート奥多摩) (昇格) 有竹 一光

介護サービス課主事 (高齢者在宅サービスセンター) 杉山 克彦

○退職 11月26日付
地域福祉課相談支援係(町派遣) 主任 森田 浩通

令和7年度社会福祉協議会 会員増強運動にご協力下さい

社会福祉事業につきましては、日頃から格別のご理解、ご協力を賜わり厚く御礼を申し上げます。

今年も例年のとおり、社会福祉協議会の会員増強月間として6月1日から会員加入と会費納入をお願いすることとなりました。

社会福祉協議会が実施する福祉事業は、会員による会費が主な財源となっております。今後、ますます増大する福祉ニーズに的確に対応していくためには、町民一人ひとりのご協力が大きな支えとなります。ぜひ、地域福祉事業にご理解いただき、会員への加入をお願いいたします。

会費の納入

正 会 員	1 口	1, 000 円
特 別 会 員	1 口	10, 000 円

会費の納入は、自治会を通してお願いしておりますが、社会福祉協議会窓口におきましても受付しております。また、事業所などにつきましては、お電話をいただければ、こちらからお伺いいたします。

取扱い期間

会費の納入は、1年を通して受付ておりますが、6月を増強月間として、取扱期間とさせていただきます。

～みんなで たすけあって 住みよい町に～

日本赤十字社活動資金の

ご協力をお願い申し上げます

町民の皆様には、日頃から赤十字事業にご理解とご協力を賜わり感謝申し上げます。

本年度も、5月1日から31日までを重点期間とし、赤十字会員への加入と事業資金へのご協力をお願いいたします。

日本赤十字社は、世界の平和と人々の幸せを願い、災害救助や福祉などの多くの事業を実施しております。

皆様よりご協力いただきました事業資金は

- ◎災害時等の救護・救援活動のために
- ◎救急法・健康生活支援講習等の講習のために
- ◎献血バスの整備や献血運動推進のために
- ◎看護施設等の運営のために
- ◎看護師の養成のために

などの事業のほか、感染症などに対する医療支援にも役立てられます。



在宅サービスセンター便り

桜が満開となり見ごろを迎える季節となりました。今年度も皆さまが楽しまれ笑顔を増やしていただけるように、さまざまな行事やレクリエーションを企画してまいります。

1～3月中に行われました行事をご紹介します。

【餅つき】

1月14日、15日に餅つきを行いました。毎年の恒例行事でしたが、コロナ禍のためしばらく開催を見送っており、約6年ぶりに実施することができました。

熱々のもち米が臼の中に入れられると、今年の健康を願いながら利用者皆さままで「べったん、べったん」力強くおもちをつきました。

「昔よくやったなあ！懐かしいな」と感想が聞かれる中ついたお餅は、あんなこと大根おろしをかけて美味しく召し上がっていただけました。



▲こうやってつくのよ。職員にも教えてくださりありがとうございます

【節分豆まき】
2月3日は節分の行事で豆まきを行いました。

鬼の登場とともに、「ご利用者様が一緒に「鬼は外！福は内！」と元気いっぱいのかけ声で、鬼に向かって豆をまきました。

力強く豆を投げる方、遠慮しながら優しく投げる方、手持ちの豆がなくなり投げた豆を「おかわり」するくらい夢中になって投げていた方など、皆さま元気に豆をぶつけておられました。無事に鬼を追い払うことが出来、今年一年の健康と幸せを願いました。



▲みなで協力して鬼退治！
高々とガッツポーズ

【外出レクリエーション】

2月19日、27日に外出レクリエーションを行い、文化会館へ「ひな人形展」を見学に出かけました。

古くは明治時代のものから大正・昭和と、81点もの華やかなひな人形が出迎えてくれました。

一つ一つ表情が違うたくさんのひな人形を前に、「きれい〜！」「素敵〜！」「かわいい！」などの声が多く聞かれ、利用者皆さまが目キラキラと輝かせながら見学されていました。

介護職員募集!!

～未経験の方、大歓迎です！～

- 【職種】 デイサービスの介護職員（パート）
- 【業務内容】 デイサービスセンターにおける介護業務
入浴介助、トイレ介助、食事介助、見守り、
レクリエーション、送迎補助など
- 【時間給】 1,180円（諸手当込）
- 【勤務日】 週1～5日勤務 日数・時間応相談
（土・日・祝・年末年始は休み）
- 【勤務時間】 ① 8：30～17：30
② 8：30～13：00
- 【募集人員】 若干名
- 【資格】 無資格の方や未経験の方も歓迎！
- 【待遇】 交通費規定支給、各種社会保険有
- 【勤務地】 奥多摩町氷川1,111番地（保健福祉センター内）
- 【応募方法】 まずはお気軽にお電話ください。
※問い合わせは、高齢者在宅サービスセンター
電話 83-2761（担当：市倉）



▲きれいな、ひな人形を前に記念撮影
皆さま目をキラキラして見学されました



病気や障がいがあっても
安心して暮らせる奥多摩町に

こうけんセンター
おくたま

◆こうけんセンターおくたまでは 認知症や障がいがあって 困っている方々のお手伝いをしています
ちよこっとスタディコーナー♪

～ 考えのクセについて ～

日本が目指す社会の姿として、ノーマライゼーションという言葉が以前は広く使われていましたが、いつのまにかダイバーシティという言葉が普及して、最近ではインクルージョンという言葉が使われるようになってきました。インクルージョン(inclusion)とは、多様性を認め合い、個々の特性を活かすことを意味する言葉です。多様性を認め合うということについて、今回は『考えのクセ』について紹介します。

- ① [自立心⇔依存心]
自分のことを自分で決めているか、他人にゆだねがちか。
- ② [権威主義⇔判官鼻根(ほうがんびいき)]
権威がある人に強く影響されやすいか、権威の無い弱者に同情しやすいか。
- ③ [個人主義⇔全体主義]
個人の価値観を優先するか、自分の周りのことを優先するか。
- ④ [理性的⇔感情的]
論理的思考で物事を考えるか、感情を優先させるか。
- ⑤ [実利的⇔形式的]
結果を重視するのか、過程を重視するのか。
- ⑥ [自己的⇔利他的]
自分に利益があることに注目するか、他者への利益に注目するのか。
- ⑦ [楽観的⇔悲観的]
物事のとらえ方の傾向が、前向きか後ろ向きか。

「皆さんはどんなクセがあり
そうですか？」
どのようなクセが良い悪い
ということではなく、色々な
考えを持つ人がいることを互
いに認め合い、支え合う社会
を作っていくということが大
切です。



相談者様それぞれのご事情に合わせて、一緒に解決方法を
考えさせていただきます。訪問相談も承っておりますので、ま
ずはお気軽にご相談ください。



ホームページ

参考：対人援助職のためのコミュニケーションスキル36「相談力」入門 中央法規 著者：鈴木雅人

使用済み切手のご寄付ありがとうございます ～3月21日まで

盛	田	正	輝	様	岡	部	ミ	ネ	子	様	寿	楽	荘	様						
奥	多	摩	病	院	様	奥	多	摩	町	防	衛	協	会	様	澤	本	和	容	様	
栃	久	保	マ	マ	さん	ク	ラ	ブ	様	小	川	幸	男	様	役	場	住	民	課	様
大	氷	川	食	糧	販	売	所	様	奥	多	摩	工	業	(株)	様	匿	名	1	件	様

ボランティア通信

ボランティア・センターおくたま

No. 124

開所時間

月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時30分

社会福祉法人
奥多摩町社会福祉協議会
奥多摩町氷川199
(福祉会館1階)

電話:(0428)83-3883
FAX:(0428)83-2567
E-mail:borasen@okusyakyu.or.jp

ホームページ: <http://okusyakyu.or.jp/>

ドクター片倉の ここだけの話



ボランティア・センター

おくたま

運営委員会 委員長
双葉会診療所 院長 片倉和彦

「大震災の後の福祉バザー」

二〇一一年の大震災の日は、息子と級友を東大和から送り届けて、飯能から娘とその友達を家まで送り届けて、大渋滞で帰宅が午前8時でした。大震災の翌々日の日曜日に八王子でろうあ協会の講演があったので、当日の帰路のろうあ者の体験をお聞きして放射線について解説しました。その後いろいろありました。3月16日の朝、ボランティアセンター運営委員長からの電話に福祉バザーはやろうよ、と答えた直後に、頭の中を波が引いていきました。脳出血でした。青梅で7日間入院しました。ガソリンを調達して来てくれた妻に感謝しつつ、ろう者の災害時医療は任せといっていていたのにできなくて情けなくなっていました。

退院して福祉バザーの集いの賞品のために預かったお金をカインズで落とししました。妻に電話しました。「あのう、子どもの乗った自転車と交通事故・・・、というのと左半身が全然動かなくなりました・・・、というのと、2万円入りの封筒を落とししてしまっただ・・・、というのと、どれがいい」。妻は「そりゃ落とししたのがいちばんいい」私「そう、その一番いいやつをやってしまった」

その時の福祉バザーには奥多摩町の福音の家に疎開しておられた福島県大熊町にある福島第一聖書バプテスト教会の教会員の皆さんも来られ買い物をしました。その3年後から片倉は、毎年3月にいわきに行つて福島第一聖書バプテスト教会の方々にお会いしています。

ボランティア

リレートーク

奥多摩指圧奉仕会 福住みつ子

「指圧の心は母心押せば命の泉湧く」のフレーズでお馴染みの浪越徳治郎(元日本指圧協会会長)最後のお弟子さんである指圧の講師近藤ひろみ先生に、基本の指圧講習を21期に(2021年平成29年)に受けて、現在1期から20期の先輩の指導のおかげで活動ができています。

現在では、23期までの指圧研修を受けた、会員と共に活動し、利用者さんに癒しを提供しています。「奥多摩指圧奉仕会」は菊池恭子前会長から(令和元年)渡邊和雄会長に引き継がれ毎月第1月曜日、福祉会館和室で指圧の技術の向上に努めてお互いに復習を兼ねて勉強をしています。

桃色の指圧のユニフォームを着て奉仕活動ができるのは、現在では、奥多摩町高齢者在宅サービスセンターの月2回のみです。指圧奉仕の時には利用者さんに身体の不調をお聞きします。利用者さんのお顔を拝見すると、心までほぐれた様な気がします。次の回に、前回、指圧奉仕をした利用者さんに会えた時は、「体の不調や悩み事」を聴いたりして、決まっている指圧奉仕時間を楽しいひと時にして過ごしています。

新型コロナウイルスが5年前に、人々を恐怖に落とし、指圧奉仕会も活動ができなくなりました。他の施設である老人ホーム等へは、まだコロナの影響から活動する事が出来ていませんが、それも再開し、利用者さんに喜んでいただく事を祈ります。

「奥多摩指圧奉仕会」は長きにわたり活動していますが、徐々に年齢が上がってきています。他の講座や指圧の知識を習得する事で利用者さんとの出会い、人生にはりが出て来ると思っています。

人生100年時代、あなたを必要と
 しています。実年齢より若さを維
 持できると思います。心も元気で
 いる方が年老いて自信を無くすよ
 りも、何かに挑戦して楽しいと思
 えたら自信につながり生き甲斐を
 感じられると思います。生き甲斐
 を持っている人はすごいパワーが
 あると100歳を生きている人から教
 わり感じました。

つぎは「点字サークルてん点」
 で活躍されている堀口リエさんに
 バトンを渡したいと思っています。



▲福住みつ子さん

奥多摩町身体障害者福祉協会 ～会員を募集しています～

身体障害者福祉協会では、心のふれ
 あいを図ることを目的に、会員相互の
 情報交換、親睦旅行、懇親会などの事
 業を行っています。(現在会員数22名)
 「対象」身体障害者手帳をお持ちの方
 もしくは身体障害児のいる家族(保護
 者)の方ならどなたでも入会できます

会費：年額1,000円

※申し込み 問い合わせは

事務局・奥多摩町社会福祉協議会

83-33855

ボランティア団体のご紹介

社会福祉協議会に登録されているボランティア団体の主な活動先は、町内の福祉施設や
 諸団体の行事、社会福祉協議会の福祉事業など、多数活動されています。

個人ボランティアも、48名の方が登録しています。今年度もよろしくお願ひします！

団 体 名	主 な 活 動 内 容
おくたま傾聴ボランティアふくろう	町内福祉施設での傾聴
奥多摩指圧奉仕会	指圧研修、指圧奉仕活動など
手話サークルもみじ	手話の学習、ろう者との交流など
民生委員・児童委員協議会	地域福祉に関する調査など
コールやまぶき	コーラスの練習・発表、町内福祉施設慰問など
食事サービスかたくりの会	配食サービス(配達、容器回収、容器洗い)など
凸凹たんぼぼの会ボランティアグループ	福祉バザーボランティアなど
点字サークルてん点	点字・点訳の学習、点訳本の作成など
栃久保ママさんクラブ	地域清掃、子どもの会・自治会への協力など
奥多摩ねこねっと	野良猫を減らす活動など
かもんみ～るボランティアグループ	地域清掃、福祉バザーボランティアなど

ボランティア養成講座受講生募集

「ボランティア・センターおくとま」では、ボランティア養成事業の一環として、下記の講座を開催します。ご興味のある方は、年齢、性別、経験は問いませんので、お気軽に申し込みください。

《指圧講習会》

- 【期 日】令和7年5月12日～7月までの毎週月曜日
- 【時 間】午前10時15分～11時45分（全10回）
- 【会 場】福祉会館 2階 和室
- 【受講料】無料 ※但し、初回のみテキスト代として3,000円をご負担いただきます。
- 【申込受付】4月30日(水)まで
- 【対象者】町内在住・在勤の方



▲指圧講習の様子

《手話講習会》

- 【期 日】令和7年7月3日～11月までの毎月第1・3木曜日
- 【時 間】午後7時～8時30分（全10回）
- 【会 場】福祉会館 1階 ボランティア室
- 【受講料】無料 ※但し、初回のみテキスト代(すぐに使えるパーフェクト辞典)として2,420円をご負担いただきます。
- 【申込受付】6月30日(月)まで
- 【対象者】町内在住・在勤の方

《今年度のボランティア養成講座実施予定》

令和7年度に実施予定である傾聴ボランティア養成講座については、7月25日に発行する広報誌にて、受講生募集の詳しい内容を掲載します。

まごころ助成事業公募

町内で福祉に関すること、または青少年育成もしくは住民の健康づくりを目的に活動している団体を対象として、公募により助成を希望する団体を募り、団体活動の発展に寄与する「まごころ助成事業」の募集を行っています。

【対象事業】助成の対象となる事業は、単年度で完了する事業とし、団体の経常的な運営費は対象外となります。

- ①福祉向上または青少年育成もしくは住民の健康づくりを目的とした事業であること
- ②明確な企画（目的・内容・資金使途）であること
- ③先駆的・開拓的、緊急性の高いものおよび効果・影響などが期待できるもの

【助成金額】1団体への助成金額は、概ね5万円以内

提出していただいた資料をもとに、審査委員会で助成金額を決定します。申請件数が多い場合は、助成金額が申請どおりに通らない場合もありますので、ご理解をお願いします。

【申込方法】奥多摩町社会福祉協議会へ備え付けの申込書類を取りに来ていただくか、ホームページからダウンロードし、必要書類をそろえて奥多摩町社会福祉協議会へ申し込みください。

【募集期限】5月9日（金）

【助成金の決定】審査委員会において助成団体および助成金額を決定し、令和7年6月上旬に決定通知をお送りいたします。助成金の交付は、6月下旬を予定しています。